

農繁期 レポート

令和8年 8月号

栄ファーム

オーナー
産地
水田面積
保証量
形態品種

栄運輸工業株式会社
鳥取県日野郡日南町
18.4アール
玄米828kg
特別栽培コシヒカリ



生産者 三上 惇二さん

8月の初旬には穂が出そろい、カメムシの防除を行いました。今では穂にズッシリと実が入り、稲も垂れ徐々に黄金色になりつつあります。

毎日、イノシシが田んぼに侵入するのでその都度電気柵の設置や金属フェンスの補修をして稲を守っています。

8月の作業内容等

1. カメムシ防除

カメムシは、柔らかい粳から汁を吸う害虫です。被害粒は黒色や茶色の斑点が生じ、食感や風味の低下、品質や等級の低下につながるため、出穂期を中心に防除を行います。草刈りなどの耕種防除も組み合わせ、薬品の使用回数を最小限にしながら、米の品質を守ります。



ドローンによる防除作業

2. イノシシ対策

田んぼの周囲に電気柵や金属フェンスを設置して侵入を防いでいます。設置後は、設備に破損がないかを定期的に確認し、雑草が電線に触れないよう周辺の草刈りも行います。実際に電気柵のメンテナンスを欠かさない圃場では被害が出ていません。



綺麗に整えた電気柵周辺

3. いもち病の対策

稲の代表的な病気の一つで、感染した種子や稲わら、籾殻などが翌年の感染源となることがあります。完全に感染を防ぐことは難しいため、稲が健全に育ち、いもち病が発病・拡大しにくい環境を整えることが大切です。発病時には薬剤を使用し、被害の拡大を抑えます。



葉いもち



いもち病で枯れた圃場

4. 収穫準備

収穫に向けた準備として、コンバインや乾燥機など収穫機械について、故障やトラブルを防ぐため、各部の点検・清掃・整備を行います。あわせて、稲刈りを円滑に行えるよう、田んぼ周辺の草刈りや排水状況も確認します。収穫までに、安全で効率的な作業に向けて準備します。



収穫機械の準備